

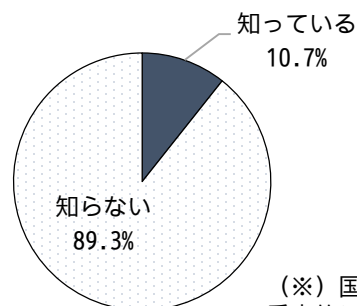
本市では、国民健康保険被保険者の健康の保持増進、生活の質の維持及び向上を図り、医療費の適正化にも資することを目的に「第三期データヘルス計画」を策定しています。

計画に掲げた目的・目標の達成状況の進捗確認や令和8年度の間評価の参考にさせていただくため、ご自身の健康管理等に関するアンケートを実施しましたので、その結果の概要についてお知らせします。

調査概要

○ 調査期間	2026年6月5日(金)～6月14日(日) (10日間)
○ モニター数	508名 (男性 225名 女性 283名)
○ 回答者数	412名 (男性 181名 女性 231名)
○ 回答率	81.1%

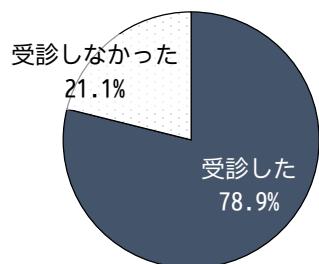
第三期データヘルス計画(※)をご存じですか。(1つ選択)



データヘルス計画を「知っている」と答えた方が10.7%、「知らない」と答えた方が89.3%であり、認知度は低い。今後は認知度向上のため、市ウェブサイト等を活用し、広く周知していく必要がある。

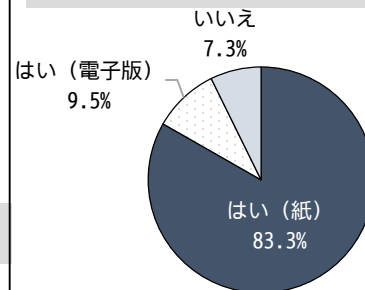
(※) 国民健康保険加入者の健康・医療情報を分析・評価し、重点的に取り組むべき課題を明らかにして、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施していくための計画

あなたは過去1年間に健診を受診しましたか。



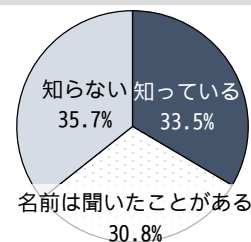
健診の受診については、全体の78.9%が「受診した」と回答した。全体の7割以上の方が健診を受診しており、健康に関心が高いことが読み取れる。

お薬手帳はお持ちですか。(1つ選択)



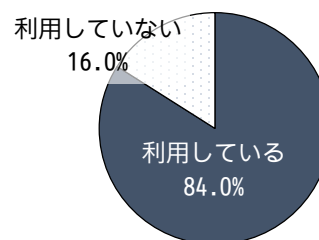
お薬手帳について、お薬手帳(紙)83.3%、(電子版)9.5%で、全体の92.8%が持っていると回答した。お薬手帳の所持率は約9割と高く、年代、性別を問わず普及していることが読み取れる。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)をご存じですか。(1つ選択)



COPD(慢性閉塞性肺疾患)について、35.7%の方が「知らない」と回答した。今後は認知度の向上および早期発見による重症化予防を図る必要がある。

ジェネリック医薬品を利用していますか。(1つ選択)



84.0%の方が「ジェネリック医薬品を利用している」と回答した。ジェネリック医薬品の利用率については、高い水準にあることが読み取れる。

《全体考察》

データヘルス計画の認知度については、前回の令和2年の調査時の約4%から10%となり増加している。健診については、全体で約8割の方が受診していて、健康への関心が高い傾向が見られる。

健診受診率、お薬手帳の所持率、ジェネリック医薬品の利用率については、前回調査から向上していて、必要性の理解が得られているのがうかがえる。

また、COPDについては、周知啓発を継続し、認知度向上および早期発見による重症化予防の理解を図る必要がある。

以上の結果を踏まえ、被保険者の健康保持増進、生活の質の維持向上のため、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施していく。